

## 産業医制度の在り方に関する論点（メモ）

### 1 求められる労働衛生管理について

産業現場の実態やニーズを踏まえ、求められる労働衛生管理について

- 事業場の業種を問わず必要な労働衛生管理は何か。
- このほか、事業場の特徴に応じて必要となる労働衛生管理は何か。
- 作業管理、作業環境管理、健康管理を効果的に運用するために望ましい管理体制はどのようなものか。

### 2 産業医に期待される役割について

1の求められる労働衛生管理の中で、医師である産業医が担う役割・職務について

- 全ての事業場において期待される役割は何か。
- 有害業務のある事業場において期待される役割は何か。
- 他の医師、産業保健スタッフ等、労働衛生管理の実務に当たる者がいる場合、産業医が担うべき役割は何か。
- 現在は有害業務の有無にかかわらず一律の基準となっている、産業医や衛生管理者の職場巡視のあり方についてはどう考えるか。

### 3 医師以外の産業保健スタッフの役割について

1の求められる労働衛生管理を実現するために、医師以外の産業保健スタッフに期待される役割と、その実現方策について

- 看護職（保健師、看護師）の役割についてどう考えるか。
- 技術専門職（衛生管理者、労働衛生コンサルタント、作業環境測定士等）の役割についてどう考えるか。
- チーム体制等、産業医とその他の看護職、技術専門職等の役割分担と連携強化についてどう考えるか。

## 4 小規模事業場における労働衛生管理の強化について

産業医選任義務のない 50 人未満の事業場の労働衛生管理の問題点と充実方策について

- 小規模事業場における労働衛生管理の問題点は何か。
- 法定事項（健康診断及び事後措置、長時間労働の面接指導）の確実な実施のための方策として何が考えられるか。
- 産業医、衛生管理者、衛生委員会等の設置基準のあり方についてどう考えるか。
- 小規模事業場における労働衛生管理を充実させるために活用できるリソースとして何が考えられるか。

## 5 事業者と産業医の関係について

- 産業医の立場について、産業現場で課題となっていることはあるか。また、事業者と産業医はどのような関係であるべきか。

## 6 その他

- (1) 産業保健サービスを提供する外部機関の質の確保について
  - 産業保健サービスを提供する外部機関の種類、及び課題など。
- (2) 遠隔による労働衛生管理活動のあり方について
  - 遠隔による労働衛生管理活動の有効性、許容される条件など。
- (3) 産業医やその他の産業保健スタッフの資質向上のあり方について
  - 産業医やその他の産業保健スタッフの資質の確保・向上の課題と方策など。
- (4) その他